

本調査研究はモーターボート競走公益資金
による財団法人日本船舶振興会の補助金を受けて
実施したものです。

環境構造の変化に対応した冷蔵貨物の効率的な
流通システムのあり方に関する調査研究
－ 冷蔵倉庫事業者の対応と今後の方向性 －

平成 4 年 3 月

財団法人 九州海運振興センター

は し が き

本報告書は、当センターが財団法人日本船舶振興会の平成3年度補助事業として実施した「環境構造の変化に対応した冷蔵貨物の効率的な流通システムのあり方に関する調査研究」の成果を報告書のかたちでとりまとめたものであります。

流通関連業界をとりまく昨今の環境は、人材の確保がますます深刻化していくなか、消費者ニーズの多様化・高度化による輸・配送貨物の多品種少量化、輸・配送の多頻度化に対応すべく、高速交通体系の整備とともに流通体系そのものの見直しといった解決すべき重要な課題を抱えています。

流通関連業界のなかにあって、食料品をはじめとする消費者の日常生活に密着した貨物の保管管理、円滑な供給という役割を担う冷蔵倉庫はいわゆるコールドチェーンの中核として国民生活の安定向上と経済の円滑発展に寄与しています。

流通の効率化を図り安定した商品価格を維持していくために、これからの冷蔵倉庫業界には、高度な保管機能を有した冷蔵倉庫の存在と同時に、流通加工や輸・配送といった流通機能を兼ね備えた冷蔵倉庫の存在が望まれるようになってきています。

本調査研究は、九州・山口経済圏における冷蔵倉庫業の実態を把握することによって、冷蔵貨物の流通の効率化に向けて今後冷蔵倉庫が対応していくべき課題とその方向性を探ることを目的として実施したものです。この報告書が関係者の方々にいささかなりともご参考になれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本調査研究をとりまとめるにあたって、終始ご指導、ご協力をいただきました北九州大学産業社会研究所柴田教授をはじめ委員各位、関係官庁ならびに調査にご協力くださいました関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成4年3月

財団法人 九州海運振興センター
会 長 邑 本 義 一

『環境構造の変化に対応した冷蔵貨物の効率的な流通システム
のあり方に関する調査研究』

委 員 名 簿

(願不同 敬称略)

委員長	柴田一郎	北九州大学産業社会研究所教授
委員	野田博	(社)九州・山口経済連合会調査部長
〃	照井健夫	日本開発銀行福岡支店次長
〃	大重秀夫	九州冷蔵倉庫協議会会長
〃	河合豊昭	福岡県冷蔵倉庫協会会長
〃	小野豊	九州冷蔵倉庫協議会副会長
〃	郡司徳忠	福岡県冷蔵倉庫協会理事
〃	秀嶋秀信	大分県冷蔵倉庫協会会長
〃	岩淵富士丸	佐賀県冷蔵倉庫協会会長
〃	大庭茂樹	九州運輸局運航部長
幹事	古賀信宏	九州運輸局運航部倉庫課長
〃	岡崎宏	九州運輸局企画部貨物流通企画課長
事務局	羽毛輝昭	九州運輸局運航部倉庫課専門官
〃	大隈三由記	九州運輸局運航部倉庫課冷蔵倉庫係長
〃	喜田秀生	九州運輸局企画部貨物流通企画課流通企画第二係長
〃	矢野達也	九州運輸局企画部貨物流通企画課
〃	杉木豊	㈱九州海運振興センター専務理事
集計解析	田中耕也	㈱日本統計センター調査部調査課長

目 次

序 章 調査計画の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査フロー	3
第1章 九州・山口経済圏の概要	
第1節 経済概況	5
1. 経済成長の動向	5
2. 労働力需給の動向	7
3. 物価の動向	8
第2節 生産動向	9
1. 水産物の動向	9
2. 畜産物の動向	10
4. 冷凍食品の動向	16
5. 輸入の動向	20
第2章 九州・山口経済圏の冷蔵倉庫の現況	
1. 倉庫の概要	23
2. 保管実績	27
第3章 実態調査による九州・山口経済圏における冷蔵倉庫の物流機能	
第1節 冷蔵倉庫事業者実態調査	41
1. 調査実施概要	41
2. 回答工場の概要	42
3. 事業展開	46
4. イメージアップ方策	47
5. 今後の経営方針	48
6. 新設・増設等	49
7. 新設・増設等の問題点	52
8. 物流事業実施状況	53

9. 年間事業収入に占める倉庫業の割合	58
10. 従業者数	58
11. 労働力の確保状況	60
12. 所管倉庫の概要	64
13. 物流事業の実施状況	67
14. 流通加工業務	68
15. 輸・配送業務	74
16. 複合一貫輸送業務	77
17. 物流システムのあり方	82
18. 倉庫の美観	84
19. 流通システムの効率化に対する意見	85
第2節 冷蔵貨物流動実態調査	91
1. 調査実施概要	91
2. 入庫の状況	93
3. 出庫の状況	106
4. 入出庫状況	117
第4章 冷蔵倉庫荷主の物流ニーズ	
1. 調査の概要	127
2. 荷主事業所の属性	128
3. 取扱実績と物流経費	132
4. 物流事業の展開	134
5. 冷蔵倉庫利用状況	144
6. 冷蔵倉庫事業者に対する評価・要望	149
7. 冷蔵貨物の物流に対する考え	157
第5章 物流基盤整備動向	
1. 高速道路網の現状と整備計画	161
2. 主要港湾の現状と整備計画	164
3. 主要空港の現状と将来計画	190
4. 物流施設の現状と将来計画	194

第6章 効率的な流通システムにむけての課題

第1節 冷蔵倉庫業をとりまく環境	203
1. 多品種少量化と保管・荷役業務の充実	203
2. 貨物量の増大	203
3. 業務の拡張	205
4. 情報化の進展	205
5. 倉庫の近代化	206
6. 労働力不足	206
第2節 冷蔵貨物物流の効率化への対応	207
1. 保管・入出庫業務における効率化	207
2. 近代化倉庫の整備	208
3. 冷蔵倉庫における輸・配送機能の強化	208
4. 流通加工業務の実施	209
5. 複合一貫輸送への対応	209
6. 集団化の促進	211
7. 冷蔵貨物のコンテナ化への対応	211
8. 業界PRと景観対策	214
9. 物流金融・主要税制の活用	215
参考資料 貨物流動調査結果	217

詳細は当センターへお問合せ下さい

(財)九州運輸振興センター

電話 : 092-451-0469

e-mail : info@kyushu-transport.or.jp